

## 平成 27 年 11 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

11月の業種別景況のDI値は、13業種の内2業種が好転し、10月に好転した4業種は横ばいの状況を維持している。

食料品や卸売業では食材等の品薄により価格が高騰している。  
繊維工業、一般機器、輸送機器の景況は上向きだが、依然として短納期要請が続いている。  
運輸業、建設業では受注が減少しており、総じて景気の動向に注視して行く状況にある。

### 山口県の主要指標 DI 値（平成 27 年 11 月末現在）

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI値〉）

前年同月比は、好転： 5.0% 悪化：26.3% DI値：▲21.3% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI値〉）


前年同月比は、増加： 15.0% 減少：28.8% DI値：▲13.8% ポイント








収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI値〉）


前年同月比は、好転： 6.3% 悪化：26.3% DI値：▲20.0% ポイント

### 山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 27 年 11 月末現在）

				
30 以上	30 未満～ 10 以上	10 未満～ ▲10 以上	▲10 未満～ ▲30 以上	▲30 未満

食料品	繊維工業	木材・木製品	印刷	窯業・土石製品	一般機器	輸送機器	全製造業
▲28.6	0.0	▲33.3	▲50.0	▲16.6	▲11.1	50.0	▲15.2
							

卸売業	小売業	商店街	サービス業	建設業	運輸業	全非製造業
▲40.0	▲33.3	▲50.0	0.0	▲20.0	▲42.9	▲25.5
						

全体
▲21.3


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	全国菓子連合会は、バターの商品薄・価格高騰を受けて、現場の声を収集している。	パン・菓子製造業
	10月は対前年同月比+26%。11月は11/25時点で昨年同月の売上をクリアし、月末では+20%程度の大幅アップを予測している。NHKの“花燃ゆ”効果に加え、世界遺産登録で好調に推移している。4～10月の累計売上も+17%、2015年度の売上は12億を軽く突破する見込み。	水産食料品製造業 萩市
	年末の繁忙期に人手を募集しても集まらない。賃金上がり条件が厳しくなった。今年も原料が上がるが、価格転嫁は非常に難しい。県内産の「うに」が採れない。「うに」が少ないのもあるが、漁業者の高齢化も一因にあると聞いている。行政を含めた統括的な対策が必要。	水産食料品製造業 下関市
	円安の為、原材料の価格上昇。	
	長雨の影響を受けて、稲の生育が遅れたため、収穫作業が大幅に遅れた。また、その後の麦の播種や大豆の収穫作業も大幅に遅れている。山口県の稲作の作況指数は97で確定し、例年に比べ、収穫不足が懸念されているにもかかわらず、JAの概算金は昨年より若干上がったものの、回復傾向とはいえない。農業センサスによると、農家数はこの5年で2割減少したとのことで、農業は今後更に厳しい状況になると予想され、現場には無力感が漂っている。	精穀・製粉業
繊維工業	主力販売取引先の受注増（新製品作り込みの追加生産）により来年2月末まで受注あり。10月～12月の操業日数6日間増にて増産体制プラス日々1時間（時に2時間）残業にて対応。更に来年1月～3月操業日数増予定。但し、上述作り込み生産分の新製品の発売が開始されたが、販売状況が予算よりかなり悪く推移しており、在庫過多による生産調整が懸念される。実習生の受け入れについて 中国人の募集が困難になり、2月よりベトナム人実習生が入国をする。現在、中国人38名、ベトナム人19名の計57名。ベトナム人実習生の通訳に問題あるため通訳専門スタッフの雇用予定。	下着類製造業
	テレビで外国人が日本製品を“爆買い”している放映もあり、日本人が日本製の良さを再認識している。しかし、県内の事業者数も雇用（外国人実習生も含む）も減少しており、短納期、小ロット生産に変化なく、どの社長も「先は読めない」と言っている。	外衣・シャツ製造業 山口市

	発注の少ない時期なのだろうか判断できないが、受注量が少ない。	外衣・シャツ製造業 下関市
木材・木製品	新設住宅着工数は前年同月よりやや増加したが、一昨年並みまでには回復していない。木材価格に変動はない。	製材業・木製品製造業 山口市
	公共事業の受注は増えているが、民間の受注が年々減少しつつありトータルでは変化が無い状況。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	人員削減で収支改善の効果がでてきたところだが、本業外の受注による外注費が増加。本業での印刷量の増加、原価低減にならない限り利益が読めない状況。	印刷 下関市
	受注件数の減少により、12月の見通しが立たない。	印刷 山口市
窯業・土石製品	全体的に出荷量が減っている。	砕石製造業
	出荷量は、前月比115%、前年同月比105%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は特に問題は生じていない。下関地区の生コン価格は来月より値上げの運びとなった。	生コンクリート製造業
	相変わらず、墓石の移転や撤去の仕事が多い。移転の場合は如何に追加(仕様変更を含む)の仕事を取るか、撤去の場合は産業廃棄物となる墓石を少しの費用で合法的にどう処分するかが課題である。	石工品製造業
	1.浅草アンテナショップ(まるごとにつぼん)に萩焼協同組合として出店。12月14日(月)プレオープン、17日(木)グランドオープン 2.テーブルウェア・フェスティバル(東京ドーム)に萩陶芸家協会として出展。 2016年1月31日(日)～2月8日(月)まで	陶磁器・関連 製品製造業
一般機器	組合員によると、客先の設備投資が依然として低調。	一般機械器具製造業 周南市
	11月の業界の景況は、概ね不変である。自動車関連では、メーカーのタイミングもあって受注件数が落ちたが12月以降は回復の兆しが見えてきている。マイナンバーの取組みは今からだという状態であるが、事務量の増加と煩雑さは否めない。	一般機械器具製造業 防府市
	引き続き機械検査関係企業の受注状況に陰りがみられ残業が減っている。その他の業種は、食品加工、スーパー、農業、食肉加工業、溶接関係、惣菜、自動車整備業者からも人手不足から、外国人技能実習生受入事業で増員や新規の相談がある。特に、国の制度改正が継続審議になったことに伴い、介護施設からの問い合わせが増えている。	一般機械器具製造業 宇部市

	<p>金型の設備操業度は受注の延期等で10月に比べやや下がっている。見積り案件は多いが、価格・納期等でなかなか決まらない状況。又、インサート金型（先に金属を金型にセットして、樹脂成型を行うと、金属と樹脂が一体となるような製品を造る金型）が多く、客先よりの材料支給の遅れ等もあり予定がズレ込んでいるものもある。12月も厳しい状況になりそうだが、来期に向けて受注を取らなければならない。今年はリピート性のある金型が多く新規顧客層が少ない傾向であったので、新規顧客の開拓を今以上に増やす受注活動を行っているが、今以上に低価格、短納期に取組み受注に繋げなければならない。成形製品の設備稼働率は上昇傾向にあるが、民生部品（家電部品、電子部品）の受注量の変動により売上が左右される状況が続いている。</p>	特殊産業用機械製造業
輸送機器	<p>鉄道車両、精密機械部門とも作業量が上向いてきた。車両は長期間だが、機械は短期間であるのが気にかかる。販売価格・単価の低価に歯止めがかからず依然として経営は厳しい。</p>	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	<p>“いりこ”の入札が終了し前年同月と同水準の売上高となった。11月に入って、お正月の進物（おせち用）が増加している。11月のこの時期は全体的に海産物の在庫が少なく、電気の使用量を抑える等経費の節減に努めている。</p>	乾物卸売業
	<p>“ふく”、鮮魚ともに漁獲高が減少しており、商材入手に困難をきたしている。</p>	生鮮・魚介卸売業
	<p>景気は、緩やかな回復傾向にあると言われているが、あまり景気の回復感はない。</p>	各種商品卸売業 山口市
	<p>建築関係の大手企業がリフォーム事業に力を入れている模様である。大手は価格が高くても「安心・安全」な気がするとの声を聞くが、大手の中でも較差があるという現実を解かっているように思う。</p>	各種商品卸売業 下関市
小売業	<p>11月の業界の売上は前年比で減少している。10/2より組合として冬期コンテストをしているが、売上は伸び悩んでいる。各メーカーからの美容部員の派遣が減ったことが売上減少の原因かもしれないが、来客がない状況であるので、お店自体に魅力がないのかもしれない。</p>	化粧品小売業
	<p>地場のスーパーが9月に閉店し買物弱者のお年寄りが困り、徐々に商店街にお客が流れて来ている模様で、組合員の売上増のチャンスであると思えるが、経営者が高齢で意欲に欠けているのが心配である。地区内の中小企業者のうち、製造業は、車関連の受注が多く忙しく慢性的な人材不足が続いており、外国人労働者が多く見受けられる様になって来ている</p>	各種商品小売業 岩国市

	が、中国経済の状況が不安材料である。建設業は、今のところ順調に推移しているが、公共事業に頼っているところが不安材料である。	
	12/1より前年通り会場を分散して、「第31回周南冬のツリーまつり」が開催されている。	各種商品小売業 周南市
	11/27～29開催のサッカー“レノファ山口優勝記念キャンペーン”は、機を捉えており、好評であった。	各種商品小売業 山口市
	10月と11月の組合員の売上高が前年同月比で僅かに下回る状況で、売上高の減少が続いている。酒のディスカウント店の売上をプラスしても厳しい状況である。	各種商品小売業 長門市
	売上が減少している。	各種商品小売業 下関市
商店街	プレミアム商品券の効果も薄れ、商店街は低迷しており、現在の状況で消費税増税は考えられない。レノファ山口J2昇格祝い等のイベントもなかなか消費に結びついておらず、年末年始も厳しい商戦となると予想している。	山口市
	11月のイベントでは各店工夫を凝らし営業したが、思う程の売上がなかった。商店街は若い人より年配者の利用が多いが、その年配者の通りも少ない状況で、年末商戦に対策の模索をしている。	萩市
サービス業	天候不順の影響で食料品など日用品の価格が上昇し、低所得層や子育て層を直撃しており、高齢化社会を支えるための負担増を懸念している。年末商戦に期待したい。	美容業
	業界も依然として厳しいものの、組合未加入者の方たちに組合で毎年取り組んでいる消毒講習会に参加を求め数件の加入者があった。	理容業
	新型車の発表が自動車メーカーから次々とされているが、新技術や新素材の投入が加速している。整備事業者は電子装置の診断能力向上と新素材への対応が不可欠になってくる。	自動車整備業 山口市
	10月入庫数よりも11月入庫数が減少している。	自動車整備業 山口市
	少子化による子ども数の減少が大きな問題。人口分布をしっかりと把握するようにしている。	スポーツ・健康教授業
	11月はこれといったイベントは無かったが、宿泊人員及び販売額とも対前年同月比で103%と好調に推移した。	旅館業 山口市
	忘年会シーズンに入り例年通り売上高の増加傾向になりつつある。	旅館業 下関市

	<p>飲食部門で店舗改修が開始され、売店部門、浴場部門とも売上減少となった。収益状況は燃料費の値下がりのおかげがあり、全体では前年同月比で「不変」となった。</p>	<p>旅館業 長門市</p>
	<p>当組合の記念イベント「大抽選会」も11月28日に賞品発送を終えたが、1等5万円の旅行券では喜びもいま一つなのか、応募したことを忘れた人がいたのは意外であった。11月の宿泊業は順調の様だが、飲食業は前年同月比で「不変」の声が大方を占めている。食材費の値上げが収益を悪化させてはいるが、総じて「不変」との回答である。下関、徳山のフグの宅配は順調だが店舗は相変わらず暇との報告には、ネットの飲食市場の席捲を思わせる。一方、忘年会が前倒しで行われているとの報告もあり、年末にかけて良い動きがある様にも感じられる。</p>	<p>飲食業</p>
	<p>秋の繁忙期も全体的に疎らで終わった模様。業界全体でかなり厳しいとの声が上がっている。マイナンバーで所得が明らかになることで、パートさんが扶養を抜けたくないのどと、賃金調整に苦慮している。仕事を頼みたいが所得の調整ということで、出勤を拒むケースもあるようだ。</p>	<p>普通洗濯業</p>
建設業	<p>山口支部の中電への工事申請は10月253件、前年同月248件。太陽光発電への申請18件、オール電化申請46件（前年は太陽光33件、オール電化50件）、LED街路灯への切替・新設申請は94件（前年は71件）であった。</p>	<p>電気工事業</p>
	<p>工事量は回復の方向ではあるが、現在は一時的に少なくなっており、踊り場の状態である。</p>	<p>左官業</p>
	<p>地域の建設業者に景気や手持ち工事量を聞いてみるが、まあまあとか、変わらないとか、良くなることはないとか、業界全体で、どちらかというマイナス思考の回答が多い。都市部に比べて、地方は再開発や民間工事の絶対量が少なく明るい材料がないため、経営者の意気が下がっている。雇用についても求人を行ってもなかなか入職者がいないとの事。</p>	<p>土木工事業 柳井市</p>
	<p>27年11月の受注高は、対前年同月比342%。今年度の累計では対前年比37%。</p>	<p>土木工事業 萩市</p>
	<p>例年は、年度替わりの4～5月の発注は無く6月に発注が始まるが、今年は4～6月の発注が無く、7～10月の発注により2月末の納期まで例年通り忙しい模様で、11月の売上高は前年同月比でほぼ同等とみている。しかし、4～6月に発注が無かったことで、年度の売上高は前年比で減少している。また、現在のガードマン不足は発注が無い間にガードマンの利用が少なかったことも要因である。燃料費</p>	<p>管工事業</p>

	<p>が下がっており気持ち程助かっている。</p>	
運輸業	<p>11月も連休があつて輸送状況は10月と差は見られなかった。長距離輸送ドライバーの減少が一層目立ち、年末を危惧した声が各社でささやかれている現状。プラスマイナスゼロで収支している。燃料費は1円の値下げ。燃料費の値下げは中小運送業者にはプラスとなるが、運賃が据え置きのため収益の好転にはあまり繋がらない。</p>	一般貨物自動車運送業 下松市
	<p>昨年度に比べ、受注は減少している。中国向けを主とした輸出関連の受注が減少しており、期末にかけて受注減は続きそう。</p>	一般貨物自動車運送業 防府市
	<p>輸送量が減っている状況が見てとれるが、年末にかけて輸送の増加が期待できる。県内でも景気が改善しているのか、求職者の売り手市場を実感しているが、運転手や作業員の離職が多く、職安などで求人をかけても中々応募がこない状況が続いている。部署によっては人員不足も発生している模様である。</p>	一般貨物自動車運送業 宇部市
	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比▲12.4%（平成27年10月1日～平成27年11月20日分）。10月1日～31日分は▲14.8%、11月1日～20日分は▲8.6%と大幅な減少が続いている。昨年10月分が+6.4%だった事、タクシー事業が不況業種である事にも原因はあるとは思いますが、基本的に地域経済が減速状態である事を表していると思う。当組合の取扱いは、光市、下松市、周南市、防府市の地域です。10月分については、防府市地区が▲16%、周南▲16%、下松▲17%、光▲22%、他地区（員外）+45%となり、組合員の全域で▲15%となった。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、為替が少し円高になったが、ブタン、プロパンのCPが少し値上がり（前月355\$/トンが今月400\$/トン）購入単価は先月よりも5%高くなった。前年度が高騰していたこともあるが、前年11月分には21%安価である。車両代や整備費用が上昇しているなか、燃料費が下がるのは大いに助かっているが、7月中旬から売上高の減少が続き、平成24年6月のような大幅減少の再来になりつつあり、年末の繁忙期が大いに懸念される。売上の減少に比例し乗務員の収入も減少しており、乗務員確保がたいへん難しい状況が続き、稼働台数も減少している。中国経済の低迷など、大手輸出産業にも陰りが見え始め、国内の個人消費は改善されないまま再びデフレスパイラルの状況に陥っている。年金の実質減額や消費税増税など、低所得者の負担が多くな</p>	一般旅客自動車運送業

	る事ばかりで、個人消費はますます低迷し、地方の経済は、ますます厳しい状況になるように思われる。	
	低水準で推移しているものの、若干、取扱トン数が増えた。	港湾運送業